

〇〇〇白髪がこんなに増えました〇〇〇
ベテランの味を生かして
1975~2005



日本共産党

市民相談に気軽にこたえる戸沢ひろゆき市議

あきる野市議会議員
戸沢ひろゆき

ごあいさつ

いま、国民の願いと政治が大きくずれています。経済構造改革と称する「三位一体改革」という声が聞こえています。年金の改悪が強行され受給金額が減らされ、負担する金額も増え続けます。専業主婦の特別控除、老年者年金控除もなくなります。定率減税がなくなったら国民の生活はどうなるのでしょうか。こうしたときだからこそ、私たちは頑張らなければと思っています。今日までの地方政治30年の活動の経験を生かして、あきる野市の政治を「市民が主人公」となる地方政治実現のため、引き続き頑張らなければと思っています。



03年度の当初予算を修正し、市民本位の予算にと提案する戸沢議員 右側が市長

戸沢議員が語りました

「野党だから、なにもできない」ってほんとうですか？

現実政治動かす

白を黒といいくるめるとんでもない反攻撃がされていま

事実をもっとお話ししよう。

●十三年かかって粘り強い提案で「清流保全条例」を制定させました。

●乱開発をさせないため「残土規制条例」を制定させました。

市民の足「るのバス」を動かす

●現在の「るのバス」を運行させるため毎議会で十三回も議会で提起し、市長も認め運行が始まりました。党市議団の粘り勝ちでした。

市民とともに「ギャンブルの街」になることをストップさせました

●三年前、あきる野市に場外舟券売場が進出されようとしたとき「ギャンブルのまちにしてはならない」と対決し、心ある議員と協力し、市民とともに運動を展開して断念させました。

いつも市民の味方

●あきる野市保育料等審議会会長を二期務め、保育料は最小限におさえ、値上げ分は給食内容の充実にさせ、保育園の施設改善に振り向けさせました。

農業委員として頑張る

●四年間、議会選出農業委員として働き農業経営と農地を守るため努力してきました。

五日市線の改善めざし

●現在は議会 R五日市線改善委員会の委員長として、複線化めざしながら、各駅の市民要求実現の先頭にたって奮闘しています。

予算修正提案して対案示す

●唯一の野党として市民の立場で奮闘しています。議員は本来、行政を手エックすることが仕事ですが自治体が財政難が叫ばれているとき、市民の血税を費やして「温泉建設」などつくることはやめて、生活道路や交通安全対策、教育に予算をまわすべきだと修正案をだし、否決されたとしても、市民要求の多くが補正予算で相まれ実現に向っています。市行政を野党として確実に動かしています。

日本共産党について
ぜひ、知ってください

戸沢議員はなぜ、日本共産党なんですか



市議会議員・戸沢ひろゆき

世界の流れから
日本を見ると……

市民のみなさんがもってあられる不安をたどると、その根っこにある日本の政治の異常なゆがみにぶつかります。

日本の政治はアメリカべったり、財界大企業優先の政治がおこなわれていることがよく見えます。日本を支配する勢力とキッパリと対決している政党は日本共産党だけです。

イラク戦争でも、アメリカいいなりで戦争を支持し自衛隊を派兵しています。第二次世界大戦で日本は戦争をしない、軍隊を持たないと、国際的に「約束」し、平和憲法を持ちました。今、その「約束」を破っている国として世界中が注目しています。世界の国々はアメリカいいなりから、平和を求める独自の国づくりを進めています。自主独立の平和な国家をつくることとして、いる政党は日本共産党だけです。

自主独立の常識の
党だから……



旧ソ連の干渉にも、中国の毛沢東派の攻撃にも立ち向かい、北朝鮮の拉致問題や大韓航空機事件でも最も鋭く闘ってきたのも日本共産党でした。旧ソ連、中国毛沢東一派、北朝鮮の体制がほんとうの社会主義ではなく、「覇権主義」「官僚主義」の国家だと断罪したのも日本共産党でした。

私は、党に入党して43年が……

私は21歳のとき、1962年に入党しました。戦前の絶対主義的天皇制の時代に反戦平和の立場にたち、命がけで筋を通したプロレタリア作家で有名な小林多喜二の存在を知り、感動して日本共産党に入党しました。あれから43年、日本共産党員として生きてきました。

日本は世界でも高度に発達した資本主義国ですが、同時に封建的社会的なごりが網の目のように存在しています。支配勢力は、その網の目をたくみに利用して共産党員の孤立をくわだてています。「正しいことを正しいと言える大人に」という民主的教育がされていますが、だれもが今の社会の中で「上手に立ち回る」ことで、生きていかなければならない封建的な環境があります。そういう困難が地域社会に残っていますが、筋を通して「市民が主人公」の、誰でもが、そうです。一人一人が大切にされる政治めざして活動し、生きていくことが、みなさんから選ばれた市議会議員としての誇りある生き方だと思っています。ご期待を裏切ることはありません。今後も、ご支援ください。

国民のくらし優先の
政治を求めて

消費税が始まって16年、その税金は136兆円です。この間、大企業 財界の法人三税は13兆円も減税しました。そして老年者控除、特別扶養控除に続き、定率減税の廃止へと向っています。国民はいじめられつばなしです。この政治に真正面から立ち向かっている政党は日本共産党だけではないでしょうか。自民 公明党は財界、大企業からの政治献金や憲法違反の政党助成金を受け取っています。アメリカや財界の「手下」では、本当の「政治改革」は出来ません。

国民の苦しみの原因は
真正面から立ち向かっています

いま、どの政党も「改革」といいますが、内政 外交、軍事のゆがみに真正面から取り組んでいる政党は日本共産党です。経済では、財界の応援から、国民の暮らしの応援を第一に考え、それによって景気を向上させることを主張しています。

外交では、アメリカいいなりをやめ、本当の独立国を主張しています。

